

令和4年12月24日

春日井浄水場見学会報告

鯉城・堀川と生活を考える会

12月21日、本年度第2回施設見学会が春日井浄水場で行われました。

当浄水場は木曽川を水源とし犬山取水場で取水し、昭和44年から給水を開始した施設で、途中、拡張事業により水需要にあわせた施設能力の増強が行われ、現在では名古屋市最大の給水能力をもつ浄水場になっております。

10月に行われた大治浄水場に続いての見学会で、朝の名古屋の最低気温が -0.3 度の寒さの中、会員12人が参加しました。

春日井駅からバスに乗り換え、徒歩15分で10時前に春日井浄水場に到着しました。事務所3階の会議室に案内され、担当者から当浄水場についての詳細な説明を受けました。そのあと、現地見学となりました。最初に、取水したばかりの木曽川の表流水を貯めておく着水井（しゃくすいせい）にたまった水を見て、このあといろいろな処理を経て名古屋市民の飲料水となるのだと思いました。その後、凝集沈殿池、濾過池、配水池を順次見学し、現地見学を終わり、また会議室に戻り質問時間を経て終了となりました。

市民の飲料水を供給する浄水場の大変さがわかった一日でした。

文責 広報 谷田

